

山行報告書

作成: 2010年10月5日

愛知岳連 岡崎山岳会

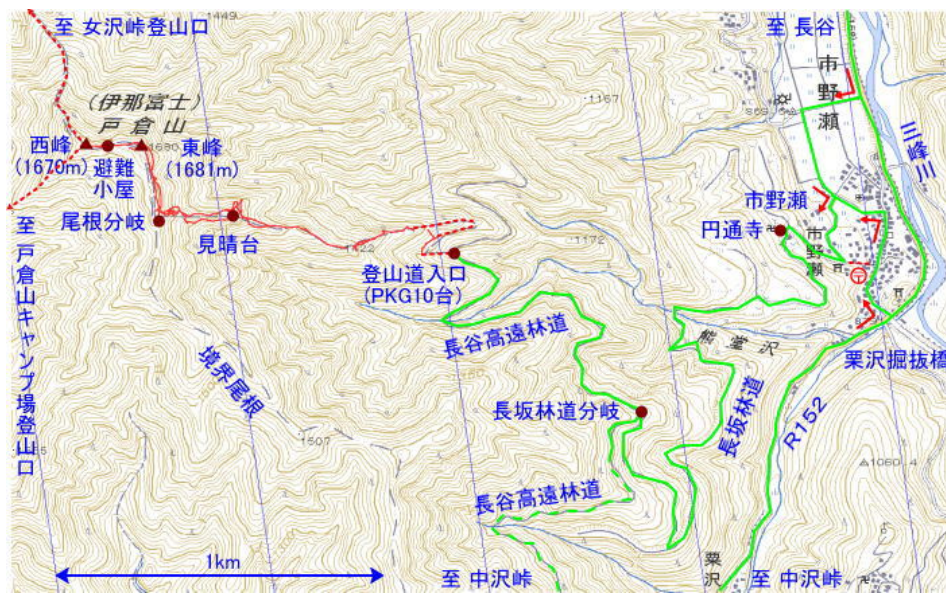
山名[山域]	戸倉山(1681m) [伊那]	目的[方法]	長谷村ルート踏査 & 中ア南ア展望
期間	2010年9月19日(日)	形態	日帰りハイキング
参加人数	4人		

行動記録:

◇9月19日(日) 晴れ時々曇り、微風、18°C@戸倉山

自宅(433) =0:20= 内田宅(453,457) =0:05= 岡崎IC(502) =0:37= 土岐JCT(539) =0:21= 恵那峡SA(600,610) =0:43= 駒ヶ岳SA(653,733) =0:05= 駒ヶ根IC(738) =[23.1km]0:45= 入野谷(823) =0:30= 入野谷登山口PKG(853,908) -0:40- 中間点(948,957) -0:10- 見晴台(1007,1015) -0:18- 尾根(1033) -0:07- 戸倉山(1040,1212) -0:19- 見晴台(1231) -0:07- 中間点(1238) -0:27- 入野谷登山口PKG(1305,1320) =0:28= 入野谷(1348) =0:10= 道の駅「南アルプス村長谷」(1358,1433) =0:07= 高遠温泉「さくらの湯」(1440,1556) =0:19= 蕎麦「こやぶ」(1615,1649) =0:07= 伊那IC(1656) =0:35= 飯田山本IC(1731) =0:56= 道の駅「稲武」(1827,1840) =1:14= 内田宅(1954,1958) =0:15= 自宅(2013)

概念図:



アプローチメモ:

◇ETC

- ・岡崎～駒ヶ根(157.7km):
¥4,400[休割¥1,000]
- ・伊那～飯田山本[51.2km]
¥1,500[通割¥750]

◇コンビニ

- ・ローソン駒ヶ根インター東店:
0265-81-4248
- ・サークルK駒ヶ根アクセス店:
0265-81-0239

◇駐車場

- ・長谷高遠林道登山道入口:
10台程度、水×、トイレ×

◇林道

- ・円通寺まで赤矢印ルートを推奨、長坂林道は狭い悪路。

日誌:

駒ヶ根ICで降りて県道49号を進む。一車線幅の狭い道をヘアピンカーブを繰り返しながら栗沢川まで降りていく。途中分杭峠の表示を見つける。分杭峠とは今話題のパワースポットである。栗沢川付近に乗用車のプールする場所があり、マイクロバスが何台も満車で通行している。水売り場もあり多くの人が訪れている様子である。

市野瀬集落から登山道入口への車ルートであるが、基本的にはガイドマップにある歩行ルートと同じである。但し、円通寺までは、案内板に従って”狭い道”(地図の赤点線)を登るのではなく、概念図に示した赤矢印ルートを推奨する。

円通寺を過ぎると、舗装路が終わり、登山道もどきの狭い林道となり、このまま進んでよいものかと不安になる。側溝や深い轍、ガードレールの無いところ、落石が散らばったところなどを越えて行く。ダートな道に運転は慎重を極める。乗っているものも気が気ではない。やがて、中沢峠から続いている長谷高遠林道と合流する。道幅が広くなりホッとす。ほどなく再び悪路となり運転に気を使うが、なんとか登山道入口にたどり着く。広場があり10台ほど駐車可能である。

登山道入口から林の中に入る。広葉樹の林が広がり、登山道は下草の繁茂がほとんど無く踏み後も明瞭である。広い沢筋を暫くジグザグに登り、東に向かって緩やかに登るようになると尾根に出る。尾根に出ると緩急を繰り返しながら高度を稼いでいく。また100m毎に「戸倉山まで〇km」の案内が丁寧すぎるほどである。手入れが良くされているコースであるが、こちらからの登山客は私たちのパーティーのみであった。ガイドマップのコースタイムより随分早く登ることができた。見晴台は切り開きでベンチが設置されている。やがて左手樹間に境界尾根が見えるようになると尾根分岐は近い。右に折れて少し降り、登り返すと一等三角点のある戸倉山東峰に到着する。東峰からは南アルプスが、西峰からは中央アルプスが展望できる。 <参考> 登り:ガイド 2h35m(実績 1h32m)、降り:ガイド 1h45m(実績 0h57m)

予定より随分早く登頂できたため、南アルプス村道の駅で、名物に「クロワッサン」を電話注文して大量に購入して満ちたりに帰路につくことができた。

感想:

長坂林道は冷や汗ものの林道であった。途中から「ここで降りて歩きましょう」と、言いたくなる道であった。